

1 日常の学習状況・課題について

- (1) 授業中に見た動画や教員の話ワークシートにメモとする姿勢が多く見られるようになり、昨年以上に意欲的な姿勢で授業に取り組む生徒が増えた。
- (2) 既習事項を生かしながら新しい単元での問いを考える様子が授業中によく見られる。
その一方でグラフや資料が複数になると手が止まる生徒もいる。
- (3) ワークシートの振り返り、レポート課題などは、9割程度の生徒が自分の考えを入れながら書けるようになってきている。
- (4) ペア・グループ活動では自分の考えを他者に伝え、かつ他者の考えを受け入れることができている。
ただ、発表になると途端に遠慮がちになって前に出てこない。

2 改善の計画

- (1) 引き続き、授業の流れと目標を黒板に書く。
- (2) グラフの読み取りや資料の分析については、ワークシートの発問に資料やグラフの読み取りをふやし、分析させることにより、資料活用の力を身に付けさせる。
- (3) 単語・短い文・具体的な説明・自分の考え、というようにさまざまな「書く」作業をワークシートの中に組み込んでいく。
- (4) ペア・グループワークの機会を増やし、個人発表やグループ発表などの場を多く設ける。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) あいさつや時間どおりに進めることを大切に、自己管理の力を付ける。
- (2) 授業の流れや課題取り組みのルールを説明して、戸惑う時間を減らす。
- (3) グループ活動で安心して自分の意見を言えるように、ペアワークから慣れさせる。
- (4) 自分でテーマを決めて探求するなど、授業内容に興味をもちやすい活動を取り入れる。

4 プランの評価方法

- ・学期ごとに授業アンケートを実施する。